

人間ドック・住民健診受診者における高尿酸血症と心血管病危険因子の関連についての解析

1. 研究の対象

沖縄県総合保健協会人間ドック・住民健診 2003 年度、2006 年度、2010 年度の受診者

2. 研究目的・方法

目的：本研究は、沖縄県総合保健協会人間ドック及び住民健診受診者における高尿酸血症と心血管病危険因子、臓器障害との関連を検討し、高尿酸血症の意義を明らかにする事を目的としています。

試験デザイン：高尿酸血症やメタボリックシンドロームの頻度の高い沖縄の大規模コホート（1年に1万人、70%が連続受診）を対象に横断的・縦断的な解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

1. 年齢、2. 性別、3. 身長、4. 体重、5. 飲酒歴、6. 喫煙歴、7. 治療歴、8. 血圧、9. 脈拍、10. 脂質、11. 腎機能（Cr、BUN）、12. 蛋白尿、13. 尿酸、14. CRP、15. 腹囲、16. 内服薬情報、17. 脈波検査（ABI、PWV）、18. 頸動脈血管超音波検査（IMT、プラークスコア）、19. 糖尿病（HbA1c、血糖）、20. 心電図（ミネソタコード）、21. 腹部超音波（脂肪肝の有無）（これらのうち施行済みの項目のみで検討する）

4. 外部への試料・情報の提供

琉球大学第3内科へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、沖縄県総合保健協会の責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

責任医師：

琉球大学大学院医科学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座

教授 大屋 祐輔

分担医師：

沖縄県リハビリテーション病院

医師 長浜 一史

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

琉球大学医学部附属病院 第3内科
教授 大屋 祐輔
電話:098-895-1150

研究責任者：研究代表者：

琉球大学医学部附属病院 第3内科
教授 大屋 祐輔